

種名	<p style="text-align: center;"><u>コジュケイ</u></p> <p style="text-align: center;"><u>Bambusicola thoracica</u></p> 													
分類	ガンカモ目ガンカモ科													
特徴	<p><ちょっとこい>と大きな声で鳴く、赤茶色の顔の目立つキジ類。中国南部に分布する鳥で、日本には1919年頃に東京都と神奈川県に放鳥されたものが自然繁殖して広がった。現在では宮城県から九州にいたる、主に太平洋岸の積雪の少ない地方に留鳥として広く分布し、繁殖している。台湾産の亜種である台湾コジュケイも放鳥されたことがあり、兵庫県神戸市付近に野生化している。狩猟鳥。</p>													
生活	<p>平地から低山帯の下藪の茂った雑木林などに棲息する。数羽の群れで地上を歩きながら採餌し、落ち葉をはねのけて、落ちている草や木の実をついばんだり、昆虫やクモを捕まえたりする。林縁や農耕地で餌をとることもあるが、驚くと飛び立って藪の中へ逃げ込む。主に地上で行動するが、木にもよくとまる。繁殖期にはつがいで生活し、地面を浅く掘り凹めて巣とし、枯れ草を敷いた上に7～8卵産む。産卵期は5～6月、抱卵日数は17～19日位。</p>													
声	<p>朗らかな大声で「ピッピックイ」というような声を繰り返して鳴く。初めはテンポが速く、だんだんにゆっくりとなる。一年中鳴くが、やはり繁殖期がもっとも盛んである。そのほか「ピュー」とか「ピー」という1声ずつの声も出す。雛をつれたメスは「コッココツ」とやさしく鳴いていることが多い。</p>													
見分け方	ウズラよりも大きく、尾は赤茶色を帯びる。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L)27cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														